

青い空に浮かぶ白い雲58

—平成26年度 教育長の学校教育経営方針 解説①—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) 「遠い目標」を目指して「今、ここ」を努力する (脳科学者 茂木健一郎)

◆ 生きる力 ◆



- ◎確かな学力 (学習の基礎基本、個々の能力の伸長)
- 豊かな人間性 (豊かな感性と人間性、変化への対応力)
- 健康・体力 (体力向上、健康・安全)



まず、「生きる力」とは、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の総合力であり、これらをバランスよく育てることが、「知識基盤社会」の時代における学校教育の重要な課題です。

東大和市教育委員会は、本年度、特に「確かな学力」を身に付けさせることに重点を置いて教育を進めます。

(1) 東大和市の児童生徒の「学力」について

学習指導要領では、次の三つを学力の重要な要素として示しています。

①基礎的な知識・技能 ②知識や技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力 ③学習に取り組む意欲

国や都の学力にかかわる調査で東大和市立小中学校の学力に関する状況を見ると、調査教科ごとの平均は、どの教科においても国や都の平均をかなり下回っているのが現状です。

(国の調査42号、都の調査54号55号を、各学校の結果や細かな分析については、学校から出される学校便りをご覧ください)

(2) 調査結果に変化の兆し

小学校

昨年度、A小学校では、学力向上に向けての取組として、「A小教育アクションプログラム」を作成し、保護者・地域に配布しました。校長は職員、保護者、地域に機会あるごとにアクションプログラムについて話題にとりあげ、学校の課題の共通認識に努めました。さらに、全校共通の家庭学習カード等を保護者に配布したり、家庭学習のポイントを整理し伝えたりしながら、保護者の子どもへの接し方を変えていきました。児童の学力の定着に向けて、学校と家庭とが協力するシステムを作りだしたA小学校は、昨年度実施した東京都の学力調査で東京都の平均を上回る成果を上げました。

中学校

中学校では、上下しながらも国の平均や都の平均に少しずつ近づきつつあります。この成果については、各中学校での教科指導に関する研修・研究が広がったことや放課後の個別指導に協力する学生等のボランティア確保に、直接、学校が大学に向き募集活動を展開してきたなど、課題解決に向けた具体的な取組みがあったからこそその成果であると考えます。

子どもたちが、小学校から中学校へそして高等学校へと進学していく中において、学習の基礎基本を確実に身に付けさせ、学ぶ喜びを感じることでできる児童生徒に育てていくこと、これは、私たちの責務であると考えます。

(3) 豊かな人間性

都内では自然豊かな東大和市、その自然の中で規律ある生活ができ、相手を思いやることのできる感性豊かな児童生徒を保護者・地域と共に育てていきます。教師の豊かな感性と人間性による教育により、児童生徒の自尊感情を高めていきます。

(4) 健康・体力

保護者の協力を得て「早寝、早起き、朝ご飯」を習慣づけます。昨年度は、市教研学校保健部会でむし歯の予防に役立つ歌とCDが出来上がり、活用が始まりました。むし歯の被患率を減少させます。

運動能力の数値では、握力は高く持久力が低い傾向が見られます。その他の項目は都全体の平均並です。全体的な

底上げを図る策を考え取組ます。